

佐倉市が
取り組む

気候変動対策

市では、気候変動への緩和および適応施策を検討し、事業化に向けた調査研究に取り組んでいます。

今回は、「気候変動の原因」と「地球温暖化がそのまま進行した場合に将来予測される主な影響」をご紹介します。

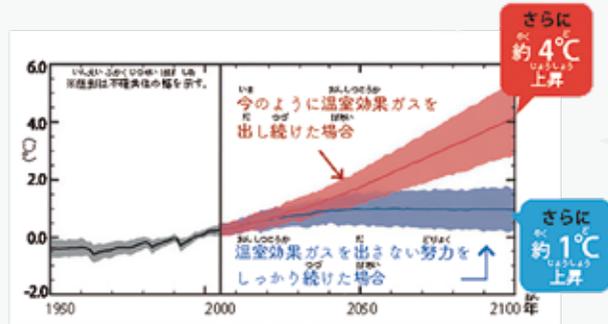
☎ 気候変動対策準備室（企画政策課） ☎ 484-3374

気候変動の原因は...

「増えすぎた温室効果ガス」

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスには、太陽からのエネルギーを宇宙に逃がさないようにして、生物が生活しやすい気温にする働きがあります。

しかし、化石燃料の使用や森林伐採といった「人間の活動」によって、温室効果ガスが増えすぎた結果、地球の気温が上昇し、気候変動の原因となっています。



「今（1986-2005年平均気温）に対する世界平均地上気温の変化予測」

深刻化してきた 地球温暖化

- ☀ 日本の平均気温は、100年あたり **1.3℃上昇**↑
- ☀ 佐倉市の平均気温は、50年あたり **2.1℃上昇**↑
〈銚子気象台データによる〉

温室効果ガスの削減は 急務です！！

- 21世紀末(2081-2100年平均)世界平均地上気温は？
- 温室効果ガスを現状のまま出続けると... **2.6 ~ 4.8℃上昇**↑
- 削減する努力を続けると... **0.3 ~ 1.7℃上昇**↑

2100年の将来予測

このまま地球温暖化が進行すると...

現在のペースで地球温暖化が進むと、気候に関連するリスクが高まり、私たちの暮らしや自然生態系に深刻な影響を及ぼします。

将来予測される主な影響	1℃上昇すると...	4℃上昇すると...
滝のような激しい雨 (50mm/h以上)の頻度	1.6倍	2.3倍
降雨量	1.1倍	1.3倍
洪水が発生する頻度	約2倍	約4倍
熱中症による死者、救急搬送者の数	1.4 ~ 3.3倍	3.2 ~ 13.5倍
猛暑日(最高気温が35℃以上)の日数	約2.8日増加	約19.1日増加

今回のまとめ

☐ 気温の上昇を抑え、気候変動の進行を遅らせるためには、原因となる温室効果ガスの排出量を減らす対策「緩和」が必要です。将来への影響を最小限に抑えるために、できることから「緩和」に取り組みましょう。

出典：グラフ・イラストは、気候変動適応情報プラットフォーム。右表は、文部科学省及び気象庁「日本の気候変動2020—大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書—」、国土交通省「気候変動を踏まえた治水計画のあり方」提言をもとに市が作成。

☐ 次回12月1日号では、「緩和策(二酸化炭素削減の取組)」に関する情報をご紹介します。

